



平成 22 年 9 月 3 日

<各位>

ナノキャリア株式会社
代表取締役社長 中富一郎
(4571 東証マザーズ)
問い合わせ先 社長室室長 香浦敏樹
電話番号 03-3548-0217

「現況のご報告」

当第 2 四半期累計期間売上高修正の理由

新規ミセル化ナノ粒子医薬品について、海外製薬会社とこれまで検討評価を行い良好な結果を得ていることから、ライセンス契約による収入を見込んでおりましたが、効果を十分に見極めることが、本技術の価値を更に高める為、第 3 四半期に一旦オプション契約を締結し、来春にライセンス契約に入るよう努力することを両者で確認しました。このため、第 2 四半期累計期間における業績予想数値に関しましては、売上高を 20 百万円、営業利益を△312 百万円、経常利益を△312 百万円、当期純利益を△313 百万円に修正しております。

通期業績予想修正の理由

上述のライセンス契約見込みが、第 3 四半期のオプション契約に変更になり、来春にライセンス契約に入るよう努力することとなりましたので、通期業績予想につきましても、売上高 475 百万円、営業利益を△226 百万円、経常利益を△227 百万円、当期純利益を△229 百万円に修正致しました。

主要パイプラインの臨床試験の現況

- 1) NK105 に関しては、ライセンス先の日本化薬株式会社が、胃がん対象の第Ⅱ相臨床試験を終了し、現在、第Ⅲ相臨床試験を検討中です。
- 2) NC-6004 の第Ⅰ相／第Ⅱ相臨床試験につきましては、すい臓がん対象に、ゲムシタビンの単独投与に比較して、NC-6004 との併用投与においては、QOL の改善及び明らかな投与期間の延長などが観察され、良好に進捗しています。
- 3) NC-4016 に関しては、ライセンス先のデビオファーム社による種々のがん患者さんを対象にした第Ⅰ相臨床試験が終盤を迎えています。

新規開発パイプラインの現況

当第 2 四半期中に、ミセル化製剤に関して、数社の国内外の大手製薬会社と評価検討契約を締結済みであり、新規医薬品開発も日々進捗しています。

当社の基盤技術であるミセル化ナノ粒子技術は、承認など実用化に向け着実に進歩しています。

以上